

広島大学大学院
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

University of Muhammadiyah Malang と意見交換を行いました

フェニックスリーダー育成プログラムでは、平成28年4月11日に、University of Muhammadiyah Malang の Latipun, M. Kes 先生 (Director of Postgraduate Program) を代表とする7名の訪問団と意見交換を行いました。本プログラムからは、神谷プログラム責任者を含む9名のプログラム教職員、そして、3名のプログラム学生が参加しました。

University of Muhammadiyah Malang は、10学部、1大学院プログラム、2博士プログラムを有した、30,000人を超える学生が在籍するインドネシアの私立大学です。

意見交換では、初めに神谷責任者から歓迎の挨拶があった後に、プログラムの概要の紹介、入学試験の情報の案内、また、プログラム学生が自身の研究活動を発表しました。

続いて、University of Muhammadiyah Malang からの入学生の受け入れや、協力関係の可能性などについても意見交換を行い、非常に充実した機会となりました。



意見交換の様子



記念写真